

ULVAC

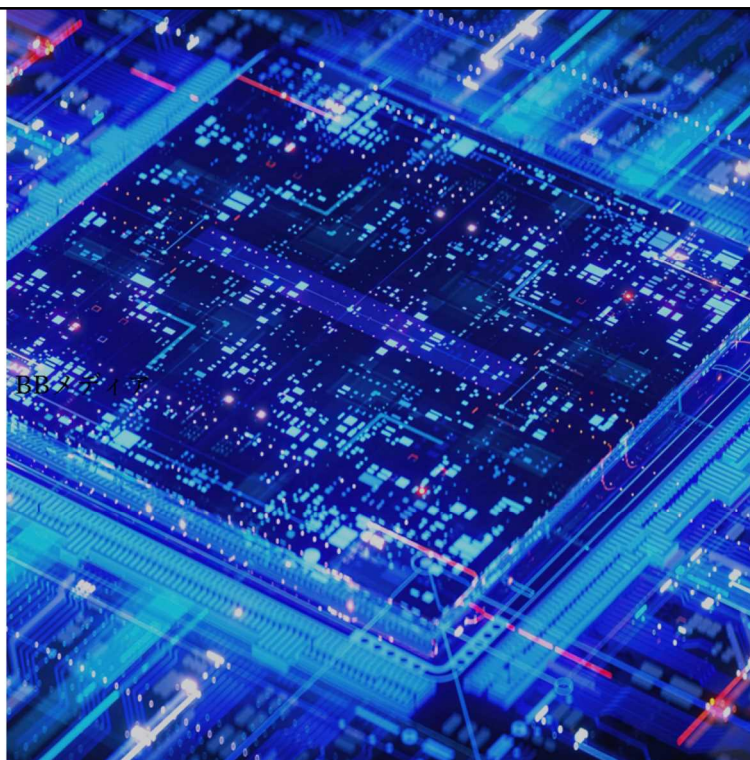
株式会社 アルバック

2024年6月期 第3四半期  
決算説明資料

---

2023年7月～2024年3月

2024年5月14日





## 将来見通し等に関する記述についての注意事項

### ■ 将来見通しについて

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

### ■ 数字の処理について

本資料に記載の数字・比率につきましては、単位未満四捨五入で処理しております。

## ■ 受注高・売上高・営業利益（3Q累計）：前年同期比大幅増加

**受注高** 1,897億円（前年同期比+10%）

- ・ 半導体：先端ロジック・メモリは調整局面から、下期にかけて投資回復
- ・ 電子：SiCパワーデバイス投資継続
- ・ FPD：EVバッテリーの量産投資本格化

**売上高** 1,852億円（前年同期比+15%）

- ・ 受注高増加により増加

**営業利益** 204億円（前年同期比+60%）

- ・ 営業利益率：11.0%（前年同期比+3.1pt）
- ・ 特に3Qは高利益率案件寄与等により大幅改善（売上総利益率は上場来最高水準）

## ■ 受注高・売上高・営業利益：今期計画達成見込み

【単位：億円】	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	前年同期比	24/6期 計画	進捗率
受注高	1,725	1,897	+10%	2,500	76%
売上高	1,610	1,852	+15%	2,450	76%
営業利益	127	204	+60%	230	89%

Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved

3

24年6月期第3四半期の業績についてご説明します。

3Q累計実績は、受注高は前年同期比10%増の1,897億円、売上高は15%増の1,852億円、営業利益は60%増の204億円とそれぞれ大幅に増加しました。

受注高については、

先端ロジック・メモリは、調整局面が続いていましたが、下期に入り投資回復に向かい始めています。1Qに集中した日本・中国のSiCパワーデバイス投資も2Q以降もコンスタントに継続しています。EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた正極集電体のアルミ箔から両面アルミ蒸着膜への置き換えの量産投資が1Qに本格化し、前年同期比大幅に増加しました。

売上高については、受注高増加により前年同期比、増加しました。

営業利益は、利益率が相対的に高い半導体・電子の売上高が着実に増えていることに加え、μOLEDなど一時的な高利益率案件が3Qに寄与したことなどにより、大幅に改善しました。

なお、年間計画の受注高2,500億円、売上高2,450億円、営業利益230億円、営業利益率9.4%は、計画達成見込みです。

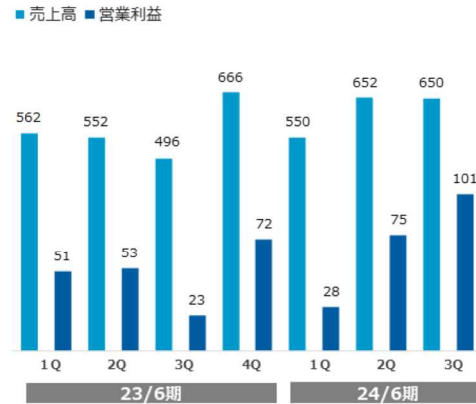
# 1 2024年6月期 第3四半期業績概要

- 受注高：パワーデバイス・バッテリー投資活発化等により、前年同期比 **+10%**
- 売上高：前年同期比 **+15%**、営業利益：前年同期比 **+60%**
- 営業利益率：**11.0%**（前年同期比**+3.1pt**）に改善

〔単位：億円〕	23/6期 3Q累計	24/6期 3Q累計	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	1,725	1,897	+172	+10%
売上高	1,610	1,852	+242	+15%
売上総利益	480	574	+93	+19%
率	29.8%	31.0%	+1.1pt	-
販管費	353	369	+16	+5%
営業利益	127	204	+77	+60%
率	7.9%	11.0%	+3.1pt	-
経常利益	157	205	+48	+31%
率	9.7%	11.1%	1.3pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	118	133	+15	+13%
率	7.3%	7.2%	-0.1pt	-

売上高と営業利益の推移

〔単位：億円〕



受注高は、サマリーでご説明した通り、パワーデバイスやバッテリー関連の投資活発化等により、前年同期比増加しました。

売上高も前年同期比増加、営業利益もミックス改善・高利益率案件の貢献等により大きく増加し、3Q累計の営業利益率は11.0%と3.1pt改善しました。

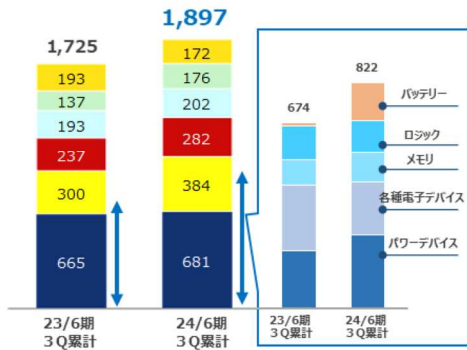
右のグラフをご覧ください。Q毎に営業利益が改善してきていることがお分かりいただけると思います。

## 2 受注高・売上高ともに前年同期比増加

- 受注高はパワーデバイスの投資継続、バッテリー関連活発化等により、前年同期比増加
- 売上高は受注高増加により前年同期比増加
- 受注残高は1,485億円と高水準

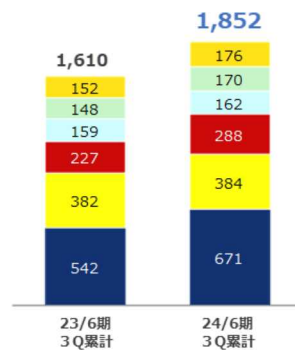
### 受注高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料  
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



### 売上高 【単位：億円】

■ 半導体及び電子部品製造装置 ■ コンポーネント ■ 材料  
■ FPD製造装置 ■ 一般産業用装置 ■ その他



### 半導体・電子

#### 半導体

先端ロジック・メモリ投資は下期にかけて投資回復

#### 電子部品

日本・中国でパワーデバイス（SiC）投資活発化  
パッケージング投資等活発化

#### FPD

EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた  
量産投資が本格化

左の受注高のグラフをご覧くださいと、前年同期比、大きく増加し1,897億円となりました。成長ドライバーの中でも特にパワーデバイス、バッテリーが牽引した形となっています。

半導体は在庫調整等で調整局面が続いていましたが、先端ロジック・メモリは下期に入り投資回復に向かい始めています。

電子部品は、パワーデバイスの中でもSiC投資が日本・中国で活発です。

また、各種電子デバイスに含まれるパッケージング投資はまだ規模もそれほど大きくありませんが、活発化してきており、3Q累計で60億円程度の受注となっています。

FPDは、パネル関連の投資は前年同期比減少しましたが、EVバッテリー関連の投資が1Qに集中して活発化したため受注増加を牽引しました。

コンポーネントの受注・売上の増加はリークテスト装置事業を一般産業から移管した影響が50億円前後と大きくなっています。一般産業は当該事業の減少を、凍結乾燥や磁石関連の焼結炉ビジネスの伸びで補いました。

この結果、受注残高は1,485億円と高水準が続いています。

右のグラフの売上高は半導体電子が542億円から671億円に増加するなど、前年同期比242億円増加し、1,852億円となりました。

また、FPDにおけるバッテリー関連の売上高は、3Q累計で90億円を超える水準で貢献しています。



### 3 売上総利益率・営業利益率ともに改善

- 高利益率案件の寄与等で売上総利益率（33.8%）・営業利益率（15.5%）ともに改善  
売上総利益率は上場来最高水準

売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】

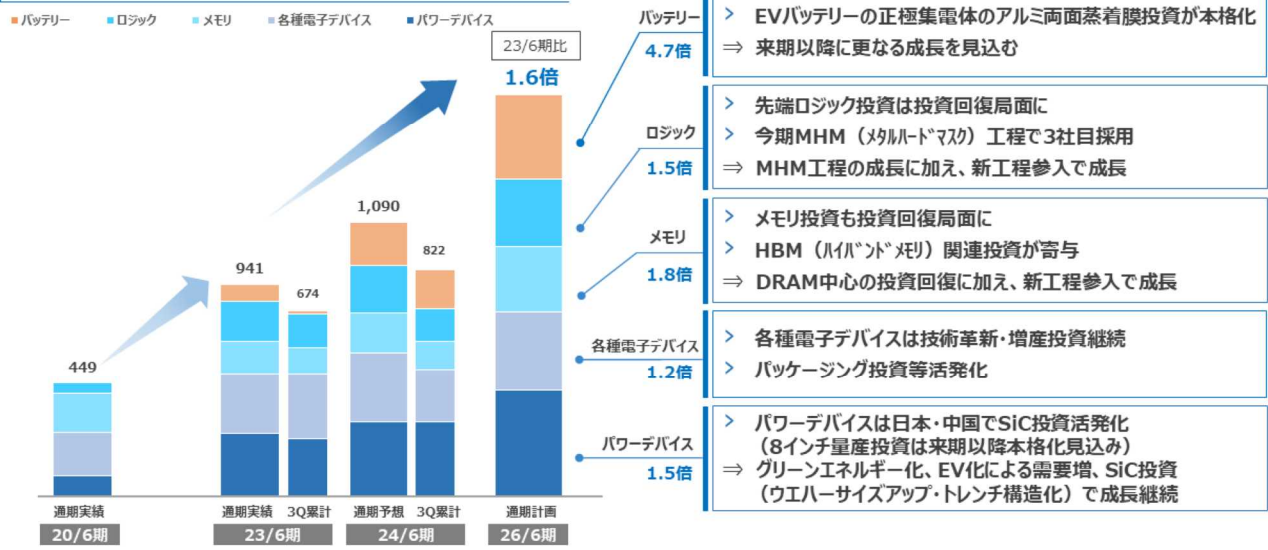


販管費率 【単位：億円、%】



四半期毎の利益率を見ると、3Qの利益率が大きく改善しています。利益率が相対的に高い半導体・電子の売上高が着実に増えていることに加え、高利益率案件が3Qに寄与したことなどにより、売上総利益率は33.8%、営業利益率は15.5%に改善しました。売上総利益率は上場来最高水準となっています。

成長ドライバーの受注推移 【単位：億円】



Copyright© 2024, ULVAC, Inc. All rights reserved

7

ご覧のように成長ドライバーは順調に成長しております。

下から順にみると、

パワーデバイスは、SiC投資が、中国に加え、日本でも1Qから始まり活発化しています。

日本のパワーデバイスメーカー各社は6インチでSiC投資を開始しましたが、8インチ化を検討、一部では投資が始まっていますが、8インチのSiC投資本格化は来期後半以降と見込んでいます。

中国でも引き続きSiC投資が継続する見込みです。

続いて、各種電子デバイスについては、技術革新や増産投資が継続しています。

半導体の微細化に限界が見え始めている中、省エネ対応のためのパッケージング投資が活発化してきており、3Q累計で60億円程度の受注と規模はまだ小さいですが、今後、更に伸びると期待しています。

そして、メモリ投資の中でもDRAMは在庫調整局面から投資回復に向かっています。

今期はHBM関連投資が寄与しています。

また、先端ロジック投資も調整局面から徐々に投資回復する見込みです。

特にMHM工程で3社目に採用されたこともあり、MHM工程とともに、新たな工程参入でさらに成長させていきたいと思っています。

最後にバッテリーは、EVバッテリーの正極集電体のアルミ両面蒸着膜への第一次投資が前期4Qから今期1Qにかけて本格化しました。

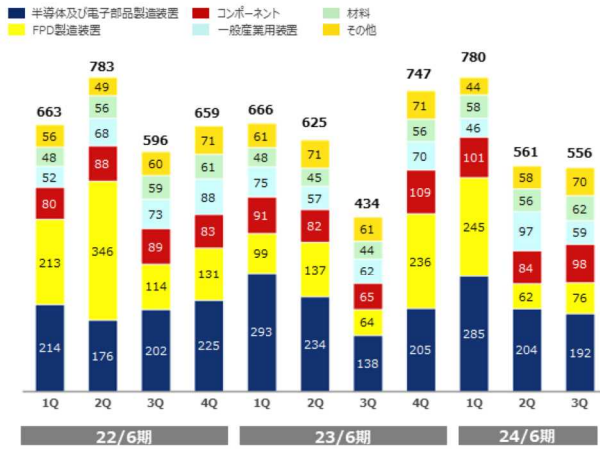
これらの装置が今4Qから来期1Qにかけて順次稼働し始めますので、各社とも次なる成長投資を計画しています。

このように成長ドライバーは着実にビジネス拡大を牽引しています。

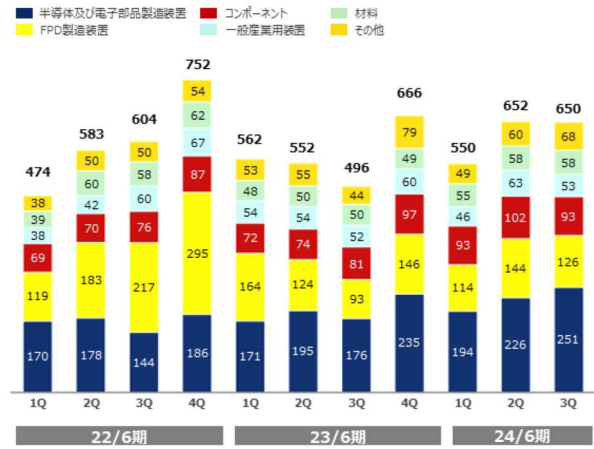
## 5 品目別受注高・売上高推移（四半期実績）

- 今期受注高計画2,500億円、売上高計画2,450億円の達成を見込む

受注高 【単位：億円】



売上高 【単位：億円】



左の受注高の4半期推移について補足させていただきます。

1Qはパワーデバイスやバッテリー関連の受注が集中したこともあり、高水準の受注となりました。

2Q・3Qもほぼ予定していた通りの受注となっています。

そして、4Qは600億円以上の受注を見込んでおり、通期計画2,500億円を上回る見込みです。

また、売上高につきましても、当初計画2,450億円を上回る見込みです。



### サステナブルファイナンスの活用

アルバックのあらゆる事業活動の根底には、経営基本理念である「真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」という考えがあります。私たちは、パートナーとともに真空技術で最先端技術を追求し、社会的責任を果たしながら真空技術で持続可能な社会づくりに貢献していきます。

その取り組みの一環として、環境や社会的課題の解決への貢献を重視した以下のサステナブルファイナンスを活用します。

#### ■ みずほ銀行との「Mizuho Eco Finance」契約締結

脱炭素社会への移行に向けた、TCFD賛同、温室効果ガス排出削減目標設定、「ULVAC Green Products」認定制度による環境配慮型製品の多数リリースなどを評価いただき、契約を締結しました。

#### ■ 三井住友銀行との「ESG/SDGs 推進分析融資」契約締結

①温室効果ガス排出削減に向けた取り組みや真空技術によるパワーデバイスの効率性向上・各種電子デバイスの省エネ化など環境負荷低減への貢献、②製品・サービスの品質向上への取り組み等による顧客満足度の向上やスマート社会・デジタル化の推進への貢献、③本業を通じたサステナビリティに取組む姿勢の強化などを評価いただき、契約を締結しました。

#### ■ 日本政策投資銀行からの「DBJ環境格付」取得

①2030年の温室効果ガス排出削減目標の達成に向けてグループ一体となった生産プロセスの環境負荷低減、②環境配慮型製品による製品ライフサイクル全体の省資源・資源循環や気候変動対策への取り組み、③「真空技術」の活用による次世代半導体や自動車の電動化に向けた小型軽量な蓄電池の研究・開発などを評価いただき、格付を取得しました。

### MSCI日本株女性活躍指数（WIN）の構成銘柄に選定

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社（MSCI）が、性別多様性に優れた企業を対象にして構築した指数「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄に選定されました。

当社はこれからも、多様な人材が活躍できる環境を整備し、企業価値向上と持続可能な社会の実現を目指してまいります。

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

### CDP「気候変動レポート2023」で「B」スコア認定

環境情報開示システムを運営する国際的な非政府組織（NGO）であるCDP発行の「気候変動レポート2023」において「B」スコアを獲得しました。

また、「水セキュリティ2023」においては「C」スコアに認定されました。



こちらのスライドは足元のトピックスとなります。

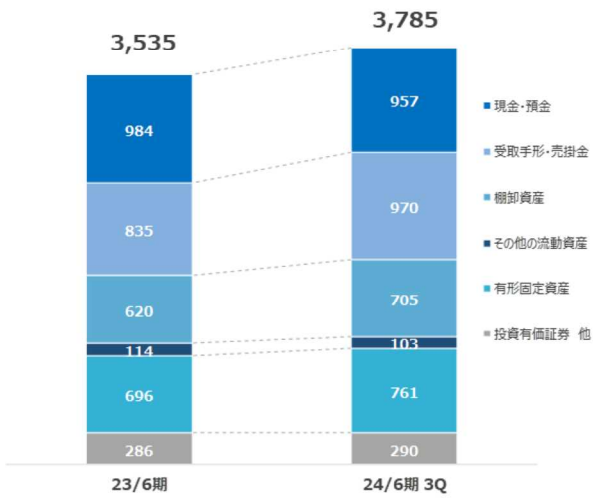
今期、みずほ銀行、三井住友銀行、日本政策投資銀行からサステナブルファイナンスを活用して資金調達を行いました。

また、MSCI日本株女性活躍指数の構成銘柄への選定を受け、CDP「気候変動レポート2023」で「B」スコアの認定を受けるなど環境や社会課題の解決にも積極的に取り組んでいます。

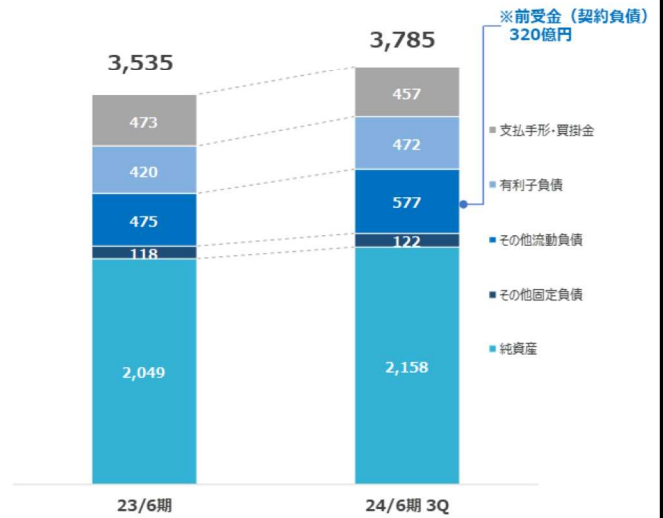
私からの説明は以上となります。

【単位：億円】	23/6期				24/6期				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	
	受注高	666	625	434	747	780	561	556	+122	+28%
売上高	562	552	496	666	550	652	650	+154	+31%	
売上総利益	165	168	147	191	153	201	220	+72	+49%	
率	29.3%	30.5%	29.7%	28.7%	27.7%	30.8%	33.8%	+4.1pt	-	
販管費	113	115	125	119	124	126	119	-6	-5%	
営業利益	51	53	23	72	28	75	101	+78	+343%	
率	9.1%	9.7%	4.6%	10.8%	5.1%	11.5%	15.5%	+10.9pt	-	
経常利益	52	65	39	72	29	81	95	+56	+144%	
率	9.3%	11.8%	7.8%	10.8%	5.3%	12.4%	14.6%	+6.8pt	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	53	24	24	11	57	64	+40	+166%	
率	7.2%	9.6%	4.9%	3.6%	2.1%	8.8%	9.9%	+5.0pt	-	

## 資産 【単位：億円】



## 負債・純資産 【単位：億円】



## 社会的課題解決

スマート社会・  
デジタル社会実現グリーンエネルギー化  
低消費電力化

メモリ

ロジック IC

センサー・電子部品

パワーデバイス

バッテリー

微細化/高性能化/低消費電力化



ウエハー



ガラス



プラスチック

真空薄膜形成技術

スパッタリング

蒸着

CVD

エッチング・アッシング

イオン注入

コンポーネント

マテリアル

カスタマーサポート

